

平成 30 年 6 月 12 日  
June 12, 2018

大学院学生各位  
To All Graduate Students

平成 30 年度  
**基盤医学特論 開講通知**  
Information on Special Lecture Tokuron 2018.4-2019.3

題目： 「 小児がん治療における小児外科医の役割 」  
Title: The role of pediatric surgery for Childhood cancer treatment  
講師：田尻 達郎 先生  
(京都府立医科大学大学院 小児外科学 教授)  
Lecture: Tajiri Tatsuro  
(Department of Pediatric Surgery, Kyoto Prefectural University of Medicine)

日時：平成 30 年 8 月 31 日(金) 18 時 00 分より (90 分)  
Time and Date: August 31 (Fri.), 2018 18 : 00 ~ (90 minutes)

場所：基礎研究棟 4 階 第 3 講義室  
Room: Lecture Room 3, (Basic Medical Research Building, 4th floor)

概要：

小児がんは集学的治療(化学療法、外科療法、放射線療法)により予後は向上し、長期生存例が増加してきたが、一方で治療関連障害がクローズアップされてきており、患児の QOL が問題となってきている。小児固形悪性腫瘍で最も症例数の多い神経芽腫では、治療の主体が手術による病巣切除や放射線照射による局所療法から化学療法を主体とした全身治療になってきており、局所療法のコンセプトも変遷してきている。また、小児がん拠点病院の制定や、小児がん臨床研究グループを統合した JCCG の設立など小児がんを取り巻く環境も変化している。このような背景をふまえて、神経芽腫を中心とした小児がん治療における小児外科医の役割について小児がん医療のインフラ整備の現状を含めてお話したい。

言語：日本語

Language: Japanese

※関係専門分野・講座等の連絡担当者：

小児外科学 (内線 2959)

Contact: Department of Pediatric Surgery(Ext.2959)

事前の申込みは不要です。No Registration Required.

医学部学務課大学院係  
Student Affairs Division, Graduate School of Medicine